



2021年8月18日

各 位

会 社 名 株式会社ジー・スリーホールディングス
代表者名 代表取締役社長 笠原 弘和
(コード：3647 東証第二部)
問合せ先 管理部 総務課長 佐々木 誠志
(電話：03-5781-2522)

特別損失の計上、通期連結業績予想の修正及び 配当予想の修正（復配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、2021年8月期第4四半期決算において、特別損失を計上することを決議いたしましたので、お知らせいたします。また、これに伴い、2020年10月15日に公表した2021年8月期通期連結業績予想及び併せて未定として公表した配当予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社が2018年11月29日付「当社による太陽光発電所の売却に関するお知らせ」にて公表した滋賀県に所在する太陽光発電所2カ所のうち1カ所において、太陽光発電所の設備工事が順調に進捗し、電力系統連系に至り売電を開始したことから、当社は公表のとおり、当該太陽光発電所を売却いたしました。しかしながら、同太陽光発電所の土地造成工事は、開発行為工事完了検査済証を取得するに至っておりませんでした。

当社は、当該太陽光発電所における造成契約の開発行為工事完了検査済証が発行されていなかったため、土地造成工事内容を検証した結果、行われた工事が未完成であり完了検査を受けられないことが明らかになりました。そのため、当社は、改めて第三者に土地造成工事を依頼することとなり、開発行為における工事完了検査を受け、検査済証の交付を受けなければならない事態となりました。

以上の理由から、2021年8月期第4四半期連結会計期間において、保守主義の観点により、当該工事完了までにかかる費用等として120百万円を特別損失に計上いたします。

2. 2021年8月期通期連結業績予想数値の修正（2020年9月1日～2021年8月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 3,500	百万円 220	百万円 200	百万円 160	円 銭 9.49
今回発表予想（B）	3,305	205	168	33	1.94

増減額 (B - A)	△195	△15	△32	△127	
増減率 (%)	△5.6	△7.0	△16.1	△79.6	
(参考) 前期実績 (2020年8月期)	4,570	52	115	124	7.93

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

3. 業績予想数値の修正の理由

当社グループは、2020年8月19日付「新たな事業の開始に関するお知らせ」と2021年2月17日付「新会社設立及び事業譲受並びに新たな事業の開始に関するお知らせ」及び2021年5月11日付「新たな事業の開始に関するお知らせ」にて公表のとおり、LPガス及び都市ガスエンジン搭載非常用発電機及び災害時非常用マグネシウム電池を取り扱う新規エネルギー事業とサステイナブル事業を開始いたしました。

2021年8月期において、再生可能エネルギー事業部門は2021年5月11日付公表の「宮城県に所在する未稼働太陽光発電所の権利の売却に関するお知らせ」など、販売用太陽光発電所の売却は当初計画通りに進捗し、また、2021年2月17日付「新会社設立及び事業譲受並びに新たな事業の開始に関するお知らせ」公表のとおり、サステイナブル事業を開始し、当該事業は当社業績の底上げに寄与したものの、新規エネルギー事業部門においては、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大に伴う影響により、LPガス及び都市ガスエンジン搭載非常用発電機の開発において、都県を跨いだ移動制限からお取引先様との面談延期、訪問自粛などにより活動に制限が生じ、加えて製造委託先の工場ラインにも稼働制限が生じたことにより商品化が遅れ、販売は試作機の納品に留まりました。そのような中、特別損失を計上することとなり、前回発表を下回る見込みとなりました。

このような状況を踏まえ、2021年8月期通期連結業績予想数値を修正いたします。

4. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2020年10月15日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回修正予想	—	—	—	2.00	2.00
当期実績	—	0.00	—		
(参考) 前期実績 (2020年8月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

5. 配当予想の修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題のひとつと位置付けており、将来の事業展開と経営成績及び財務状態等を勘案しながら配当を実施することを基本方針としております。

2020年8月期においては、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大による深刻な影響が顕在化し、経済活動の自粛・休止が始まるなど今後の見通しを総合的に勘案し、誠に遺憾ではございますが無配とさせていただきます。2021年8月期においては、上記特別損失の計上により、親会社株主に帰属する純利益は大幅に減少する見通しとなりましたが、現経営陣就任後は2期連続で最終利益を計上できる見通しであり、当社グループの事業の柱として据える再生可能エネルギー事業の堅調な推移と新たに新規エネルギー事業及びサステイナブル事業を立ち上げたこと、また本日付「新たな事業の開始に関するお知らせ」にて公表のとおり、消毒OEM事業を開始することにより、今後の事業伸張が見込めることから、復配に向けた環境が整ったものと判断し、今般、1株当たり2円の期末配当を実施する方針といたしました。なお、本件につきましては、2021年11月26日開催予定の第11回定時株主総会に付議する予定であります。

以 上